

地域に根をはる、ホスピス住宅



日本ホスピスホールディングス

代表取締役社長 高橋 正

会社概要

会社概要

社名	日本ホスピスホールディングス株式会社
本店所在地	東京都千代田区丸の内3-3-1 新東京ビル2F
代表者	代表取締役 高橋 正
資本金	261百万円（2019年6月末日時点）
グループ会社	ナースコール株式会社（愛知県名古屋市） カイロス・アンド・カンパニー株式会社（東京都千代田区）

事業内容

ホスピス住宅事業



入居者を**末期がん患者**や**難病患者等**に限定したホスピス住宅にてケアサービスを提供しております。訪問看護と訪問介護事業所を併設又は近設しております。

訪問看護事業



看護師による訪問看護サービスを提供しています。在宅医と協力して、利用者やその家族の希望に沿い、安心して「おうち」で暮らし続けられる支援をしています。

在宅介護事業



訪問看護と併設することで医療的ケアに対応し、「通い」「泊り」「訪問」の3つのサービスを組み合わせた包括的なケアを特長とするサービスを提供しております。

ホスピス住宅の展開地域

2019年8月末日時点での展開地域
13拠点（1都、2県）／47都道府県

- : 5拠点以上
- : 1～4拠点



カイロス・アンド・カンパニー株式会社



ナースコール株式会社



多死時代

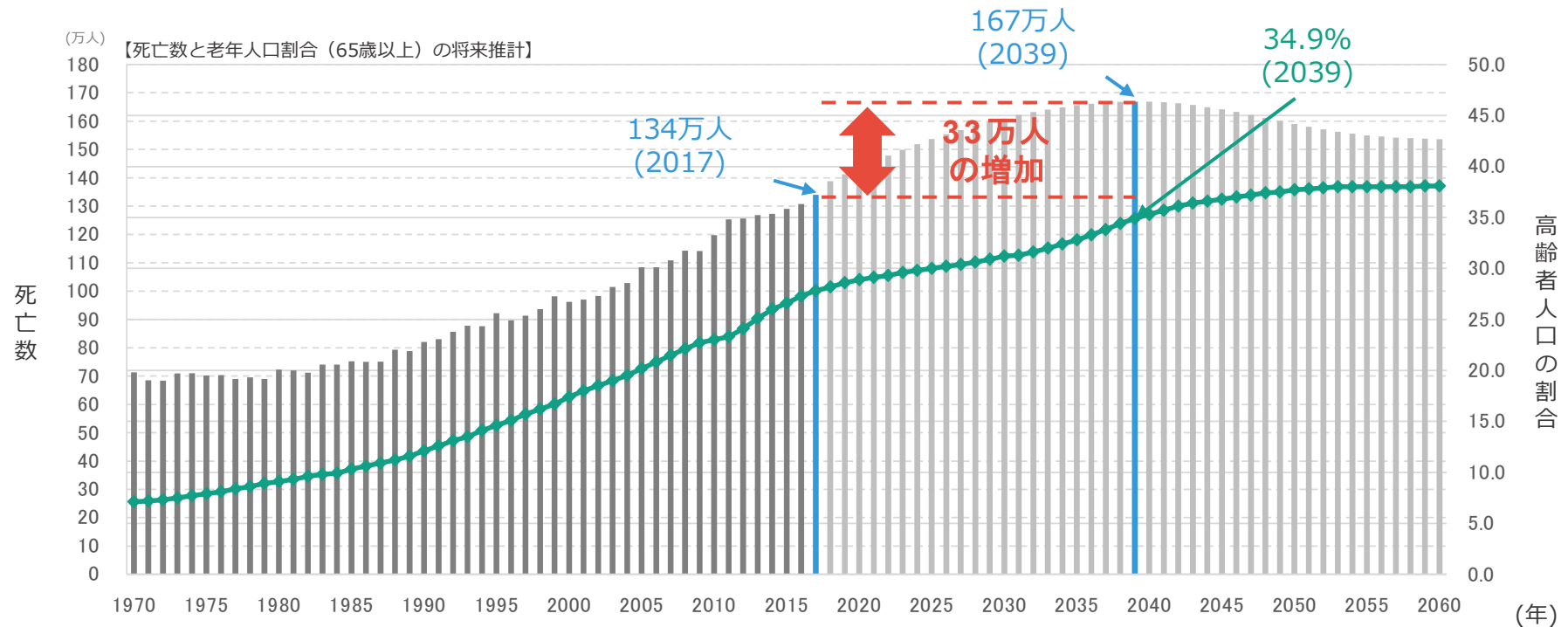
年間の死亡者数は増加し、ピーク時の2039年には167万人に達し、65歳以上の割合が約35%になると予想されている。

増大する社会保障費の打開策として、病院から在宅を中心とした医療への転換

→ 病床機能の変化

一方で、死亡者数は増加が予想される

→ 受け皿不足で約30万人が「看取り難民」になる恐れ



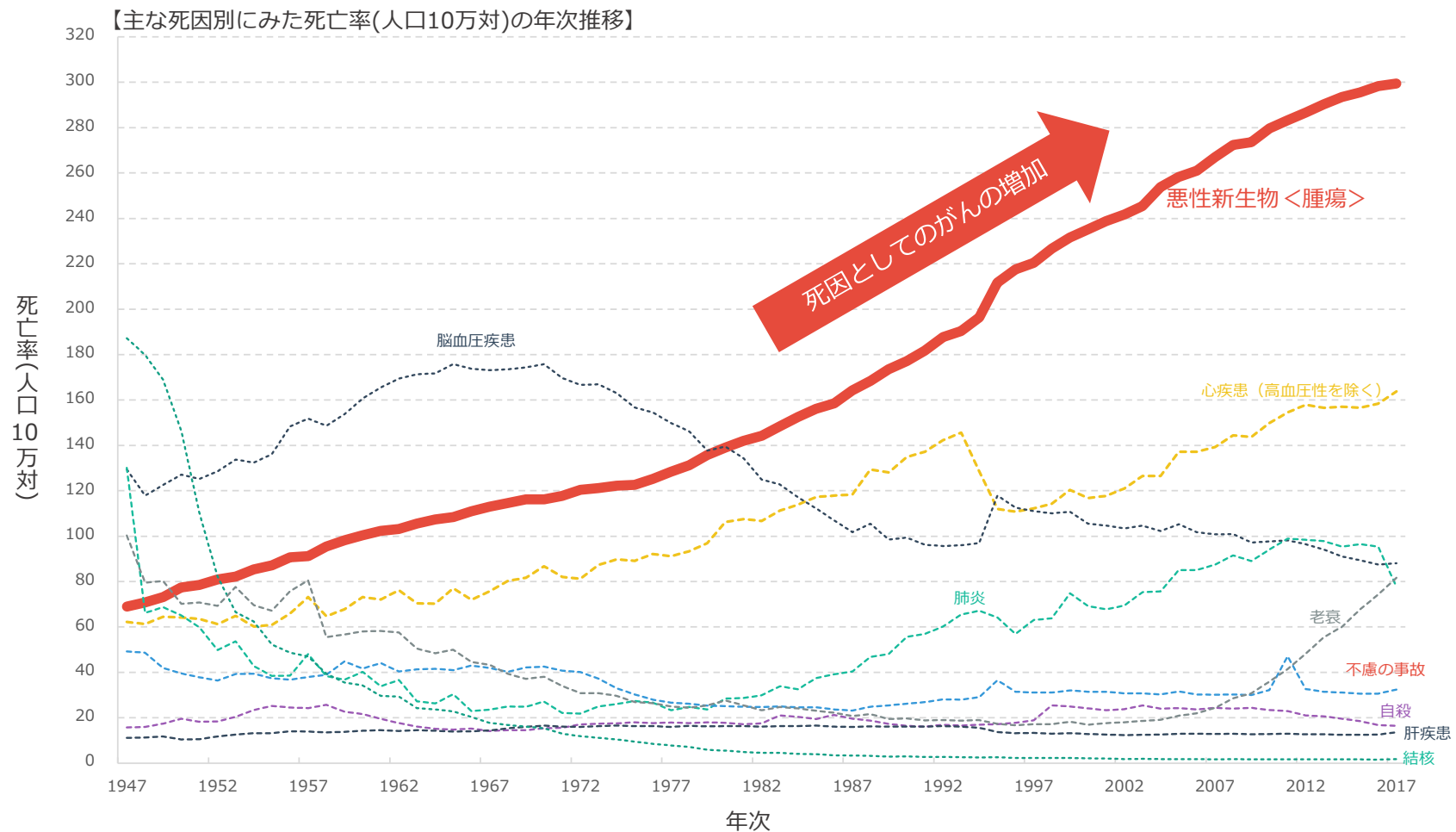
【出典：平成28年版厚生労働白書】

2017年以前：厚生労働省政策統括官付人口動態・保健社会統計室「人口動態統計」

2018年以降：国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成24年1月推計）」】

死亡原因 がんの増加

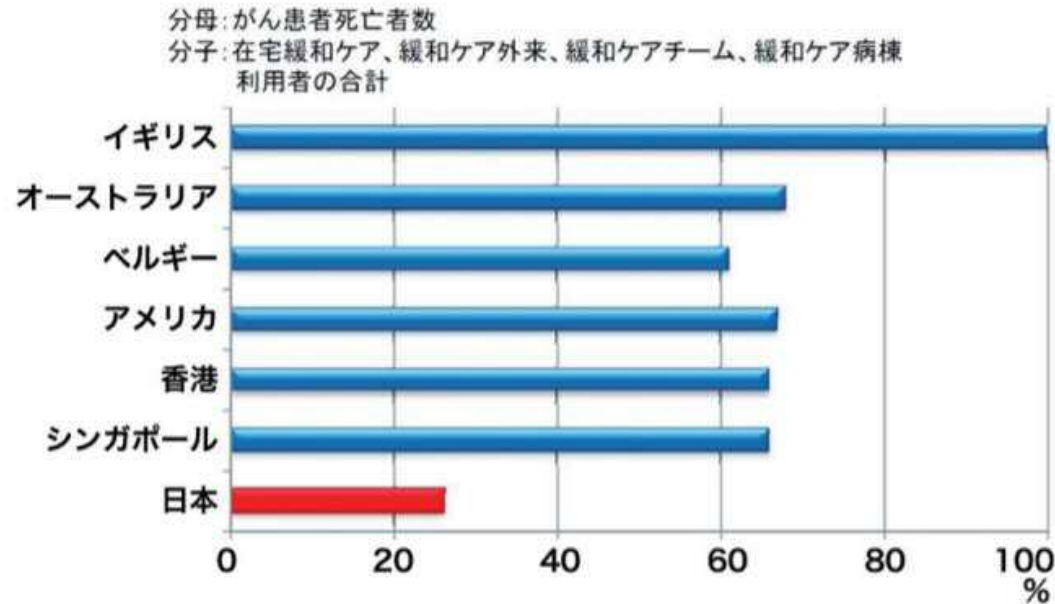
1981年に死亡原因の1位となり、現在、全死亡者に占める割合が**28%**となっている
→年齢が高くなるほどその割合が高くなるため、高齢化により増加し続けている



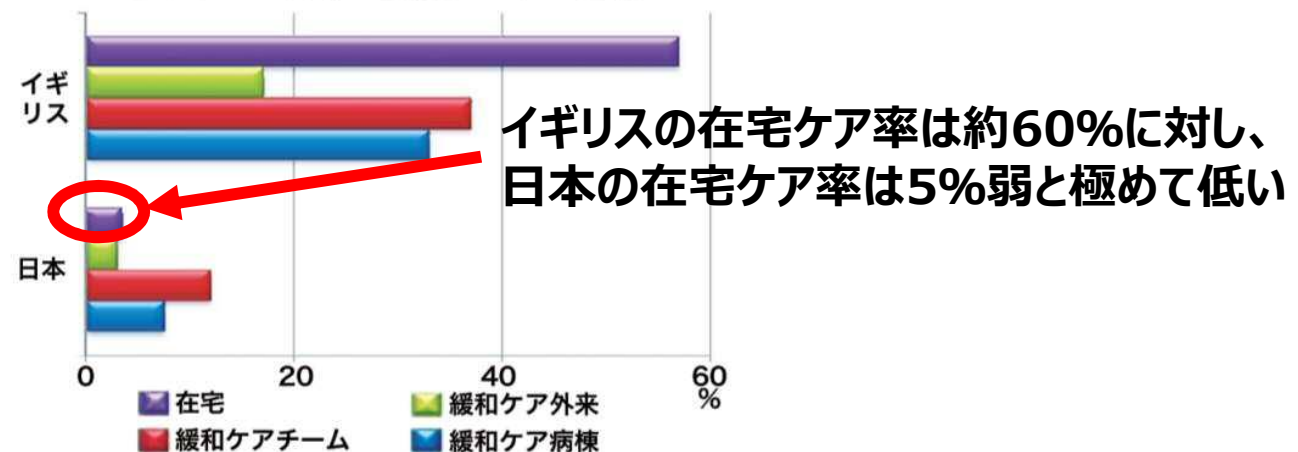
【出典：厚生労働省・平成29年（2017）人口動態統計月報年計】

受け皿となる緩和ケアの国際比較

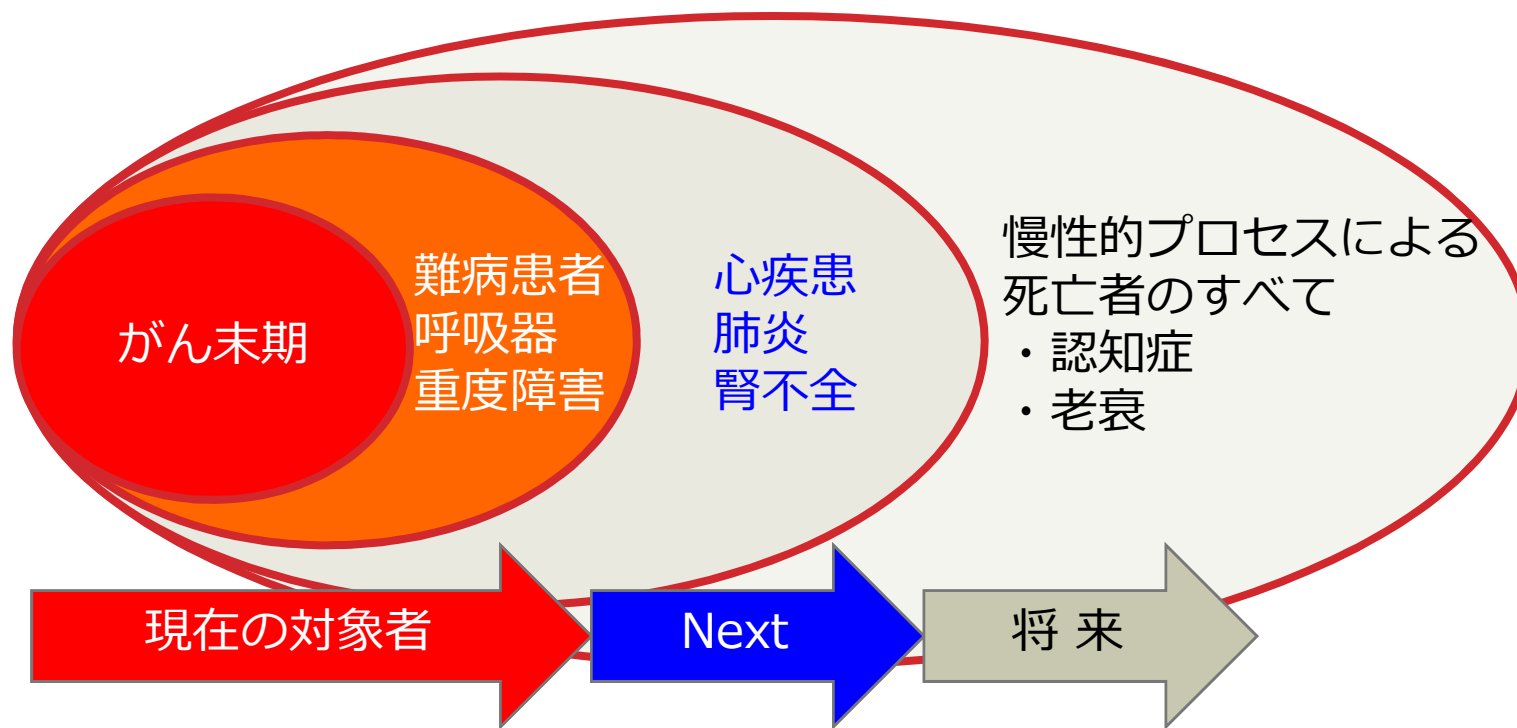
日本で緩和ケアを受けているのは30%未満



イギリスと日本の詳細データの比較



ファミリー・ホスピス® 対象者イメージ



がん
死亡者数

37万人/年

※2016年

難病
患者数

100万人

※2016年

心疾患・肺炎
腎不全
死亡者数

34万人/年

※2016年

死亡者数

130万人/年

※2016年

アメリカでは、余命6ヶ月
の診断が出ると疾患に
かかわらず緩和ケアが
公費で受けられる
全死亡者数の45%※
が緩和ケアを受けている

※NHPCO (米) データ

ミッション

在宅ホスピスの研究と普及

ビジョン

年間 1 万人の在宅看取り支援

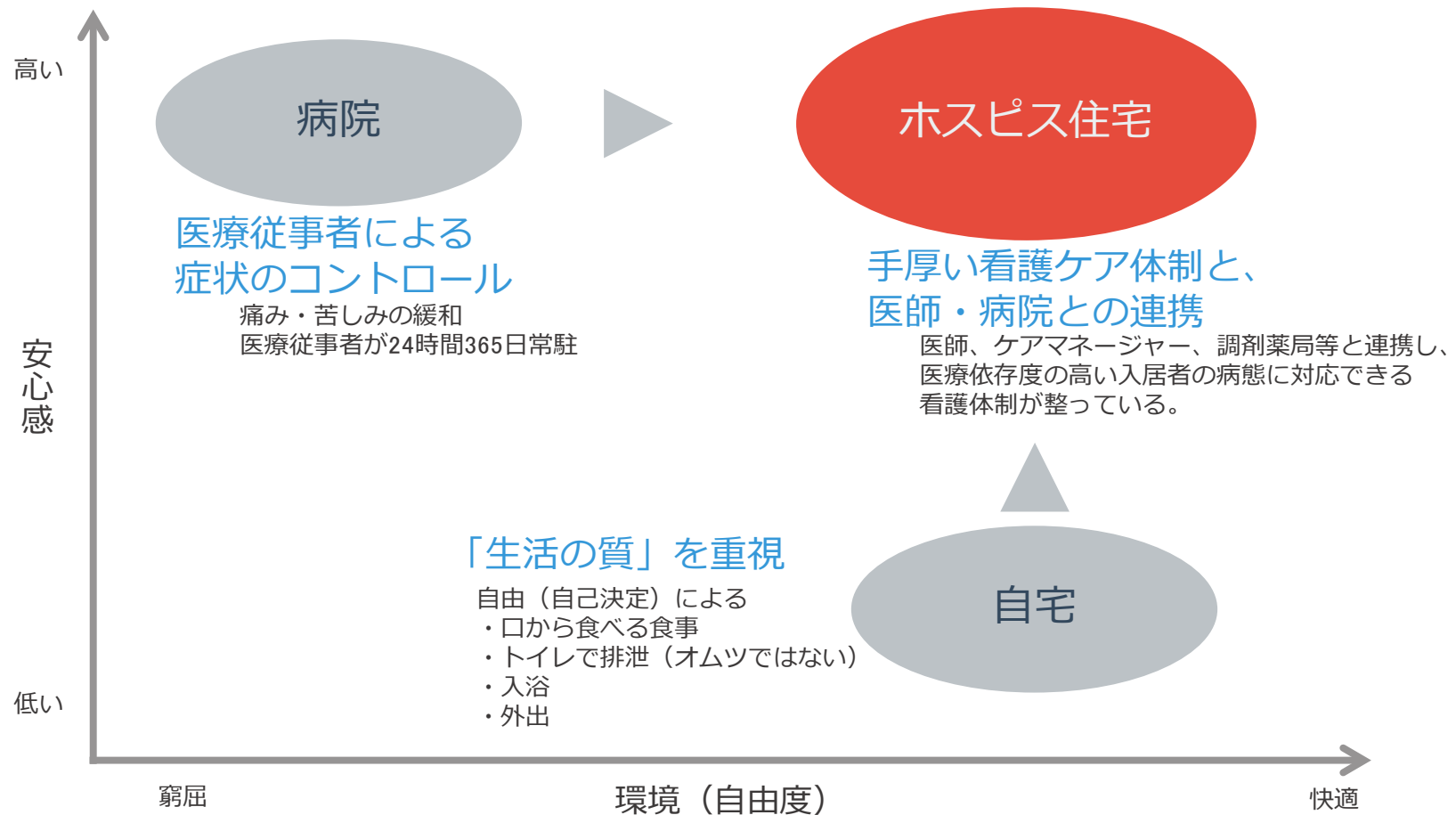
スローガン

すべては笑顔のために

For The Smile

ホスピス住宅

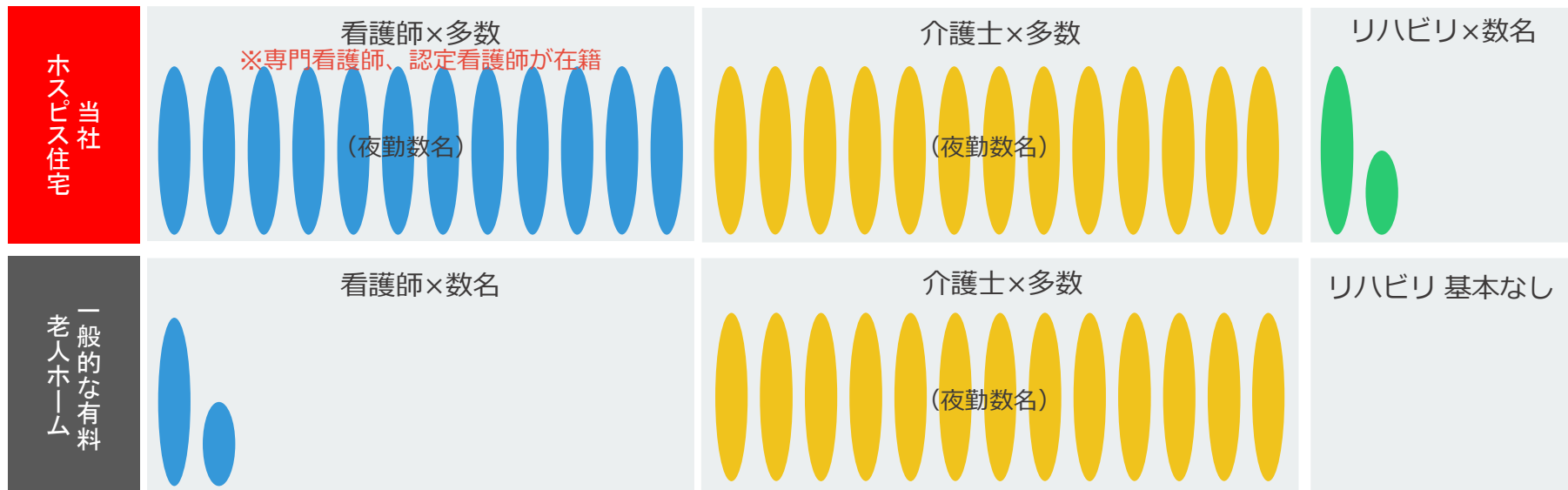
「自宅の快適さ」と「病院の安心感」の両方が実現可能な場所



ホスピス住宅の標準的な人員配置

看護師の配置数が多いことで、手厚い緩和ケアサービスの提供が可能

＜ 30室規模の住宅における、標準的な職員配置数＞



専門職の潤沢な配置



質の高いケアサービスの実践



優秀な人材が集まる

ファミリー・ホスピス®の特徴

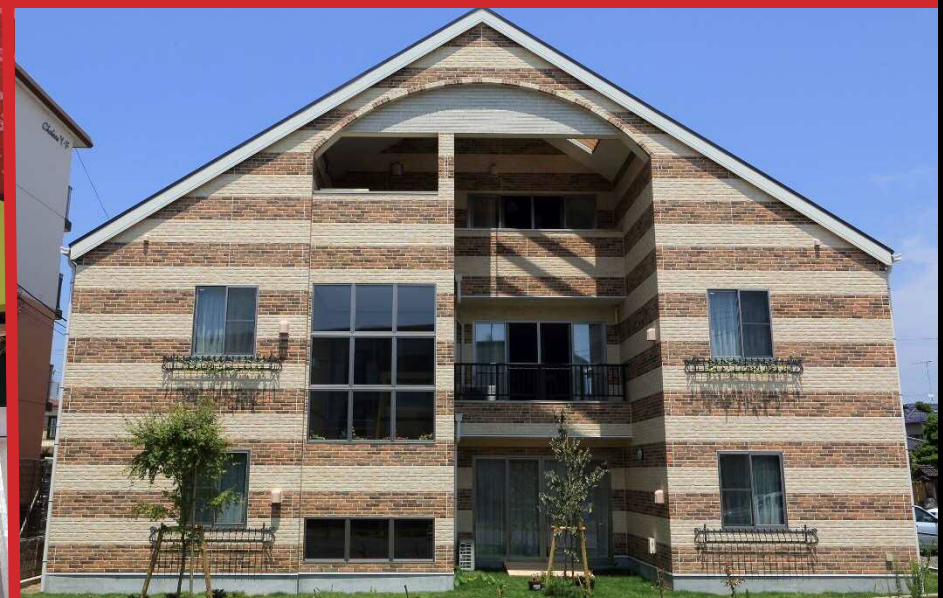
質の高い
療養支援



自由度の高い
住まい

ファミリー・ホスピス鴨宮ハウス

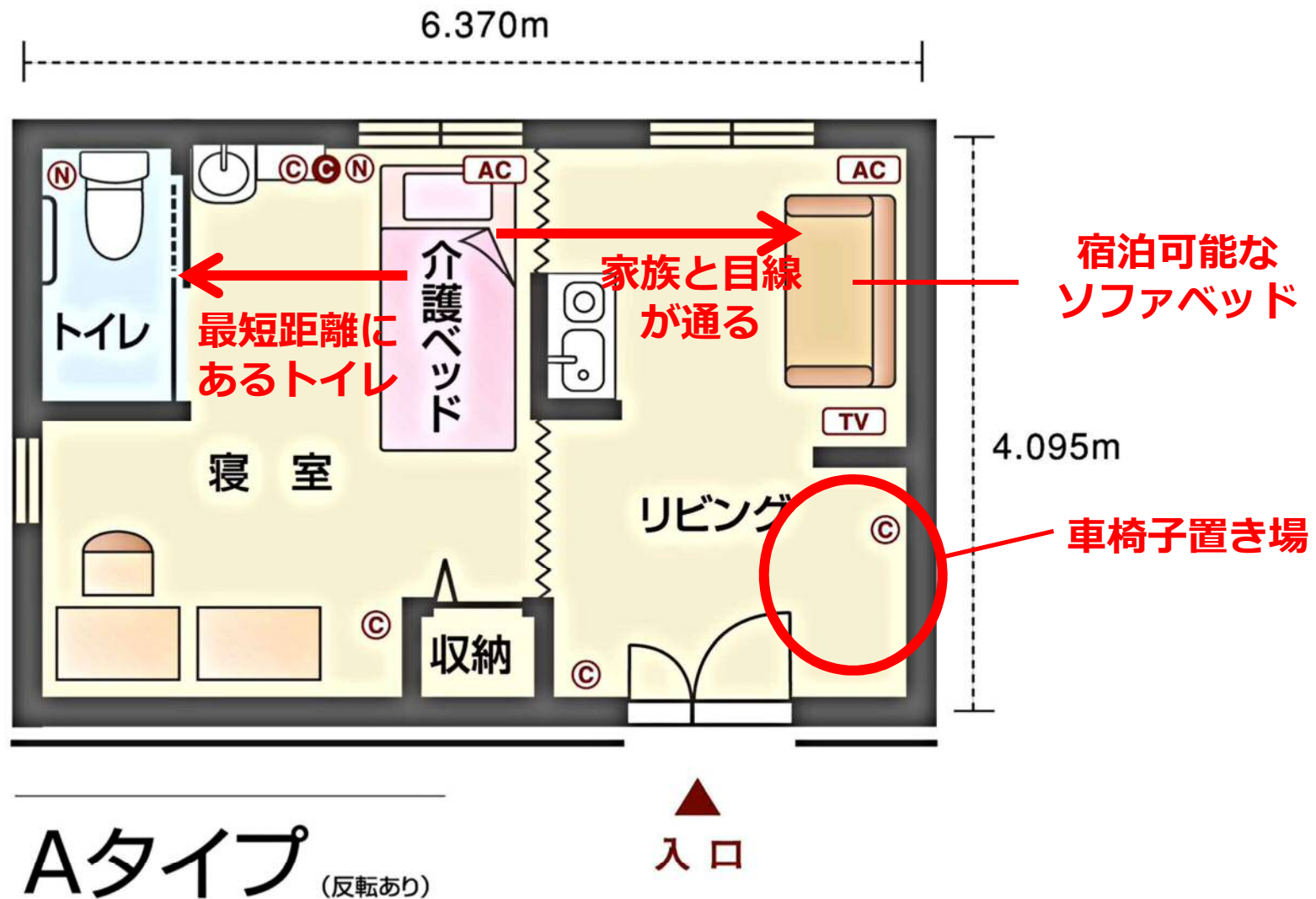
2014年8月～



ホームホスピスに学んだしつらえ



サ高住の基準を満たした第2の自宅としての居室



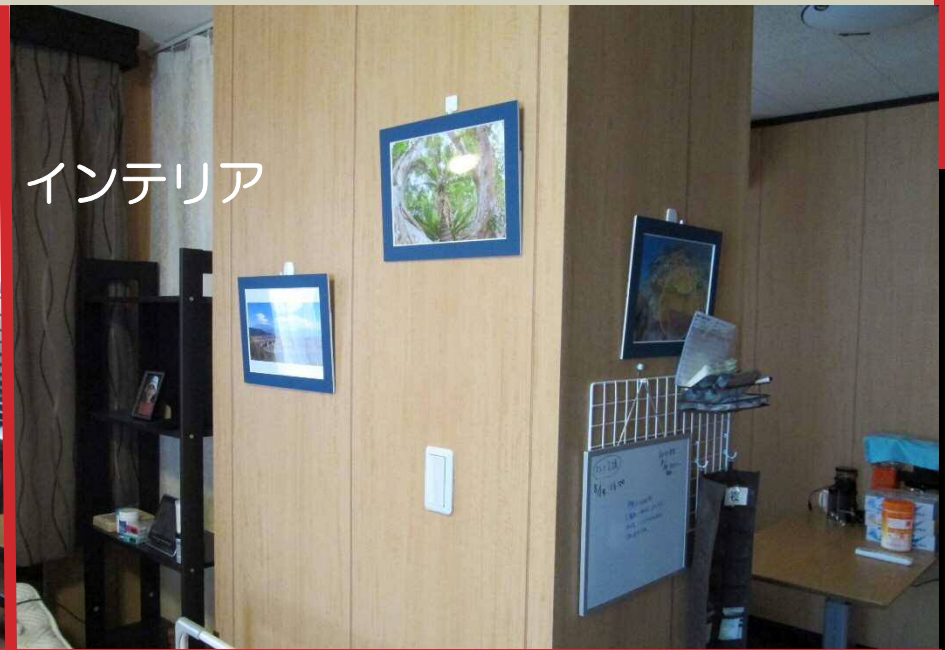
■ 面積：26.08m²
■ 総数：8室

- ◆ 非常電源完備
- ◆ エアーマット標準装備

0さんの居室



書斎



インテリア

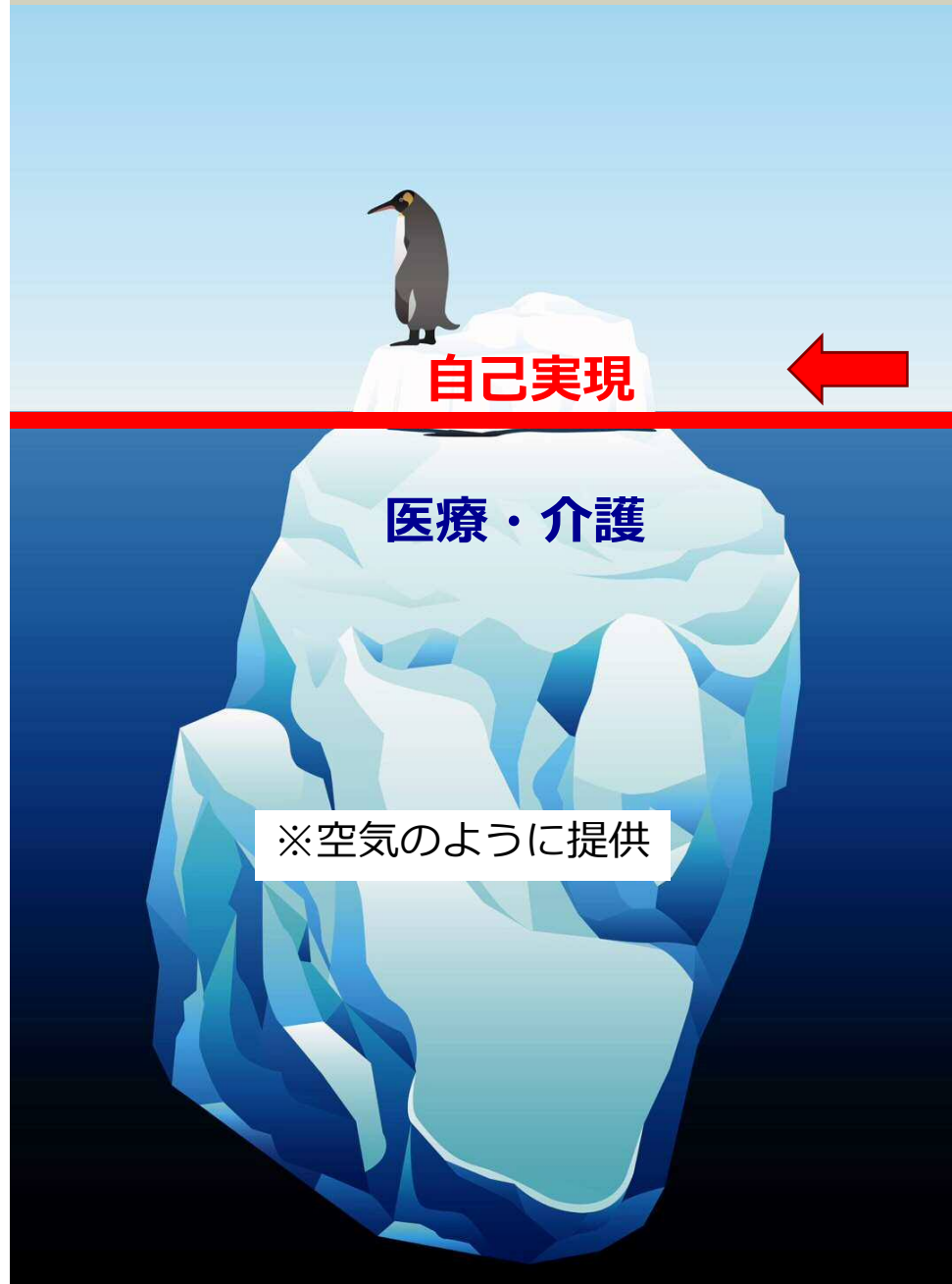


喫茶コーナー



洗面、ベッド周り

QOL/QODを実現する条件



- ・ だれと、どう過ごす
- ・ 思い出の場所、食事
- ・ 家族との時間
- ・ 会いたい人

洋上の冰山：自己実現

水面下：医療・介護

◆症状緩和

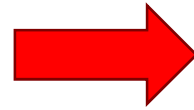
- ・ 痛みのコントロール
- ・ 苦しみの緩和（呼吸・腹水・嘔吐等）
- ・ 喀痰吸引、摘便
- ・ 通院支援

◆身体・環境

- ・ 入浴
- ・ 食事介助
- ・ 排泄
- ・ コミュニケーション方法の確保

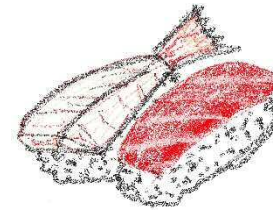
ホスピスケア・プランナーの役割

患者ニーズ



どう生きたい
自己実現
→洋上の冰山

イメージするところからの支援

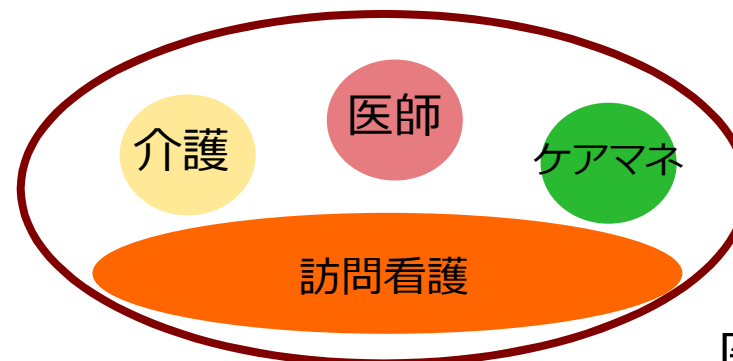


意思決定支援

- ・ ACP
- ・ DNAR



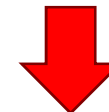
本人による合理的
判断が困難な人



医療者による合理的判断



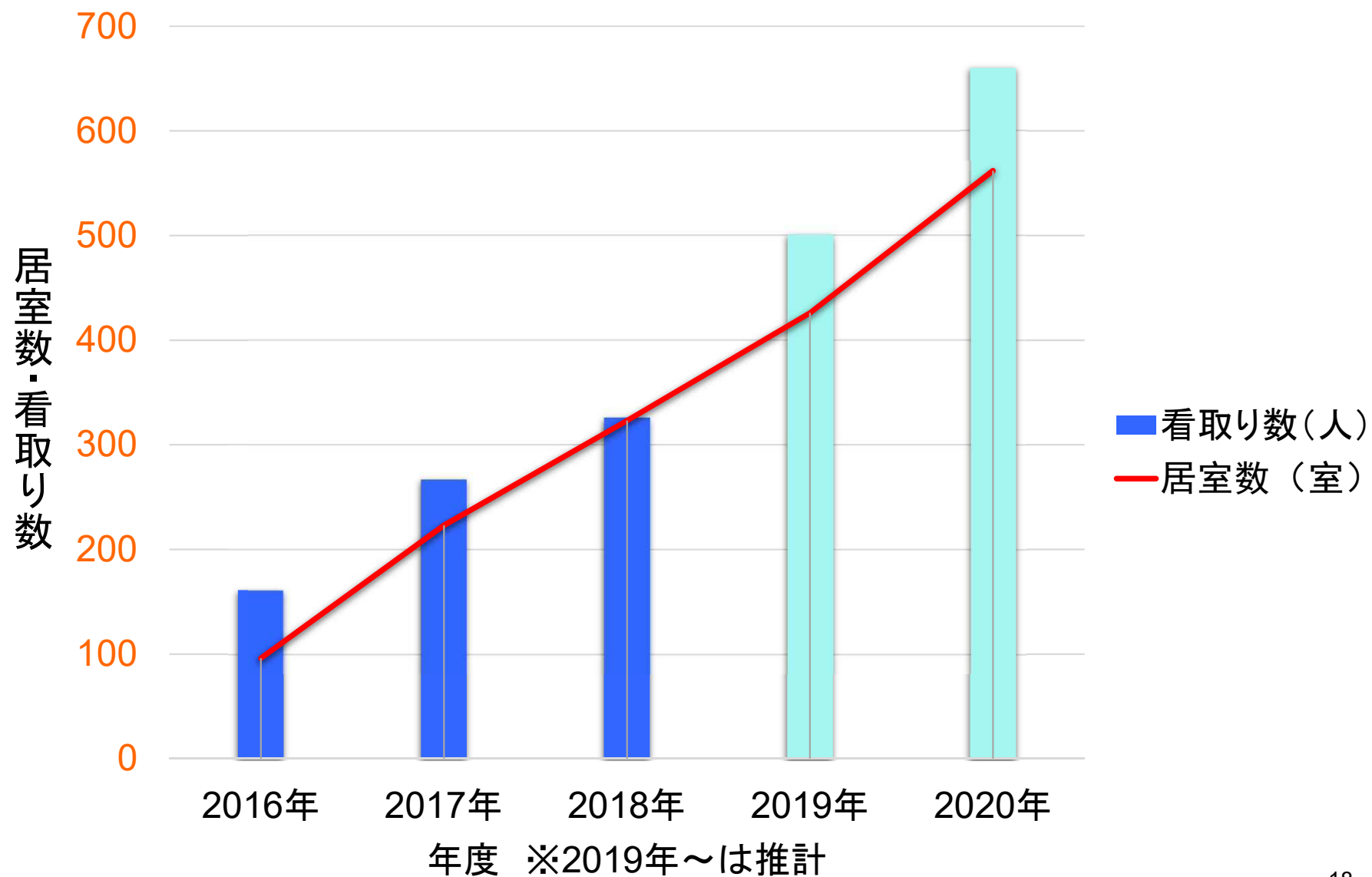
地域包括ケアシステム
多職種チームアプローチ



訪問看護をベース
医療・介護チームによる実現

施設定員と看取り数（人）

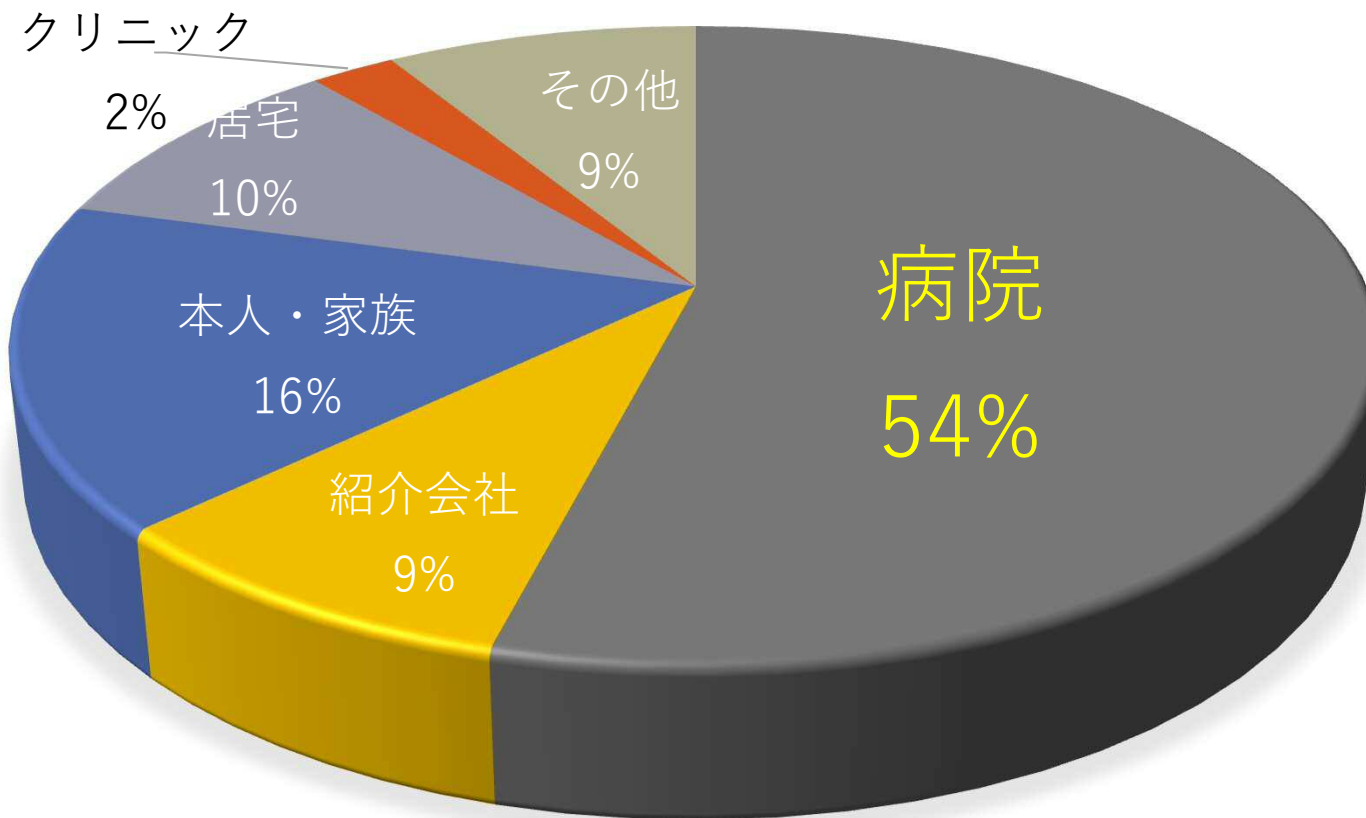
グループ全体のデータ



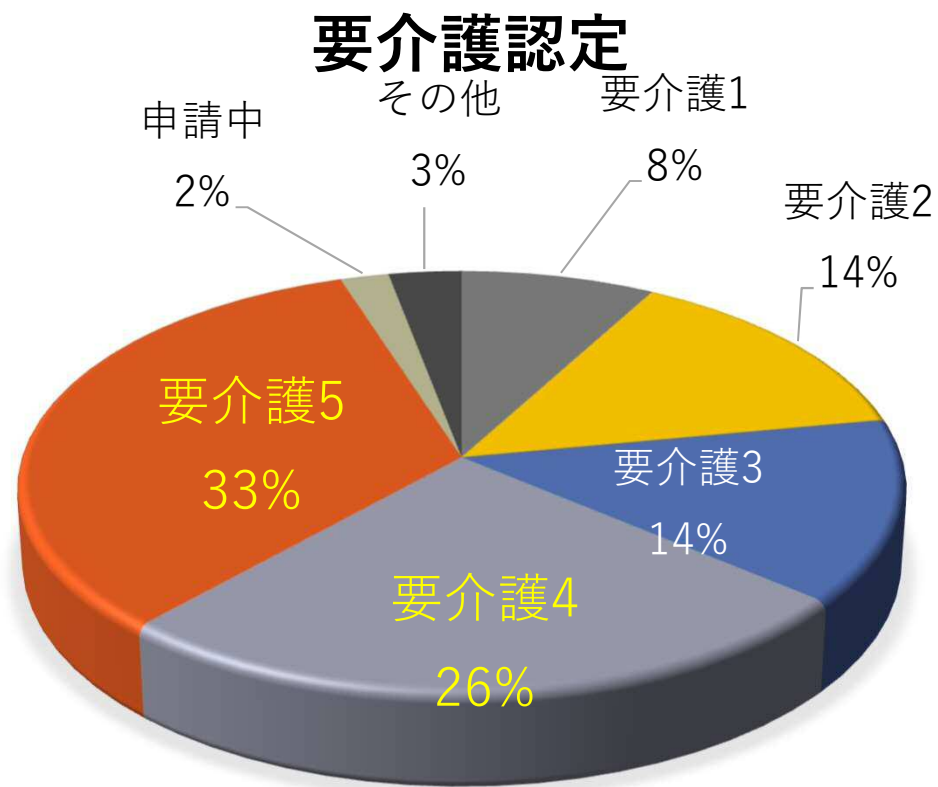
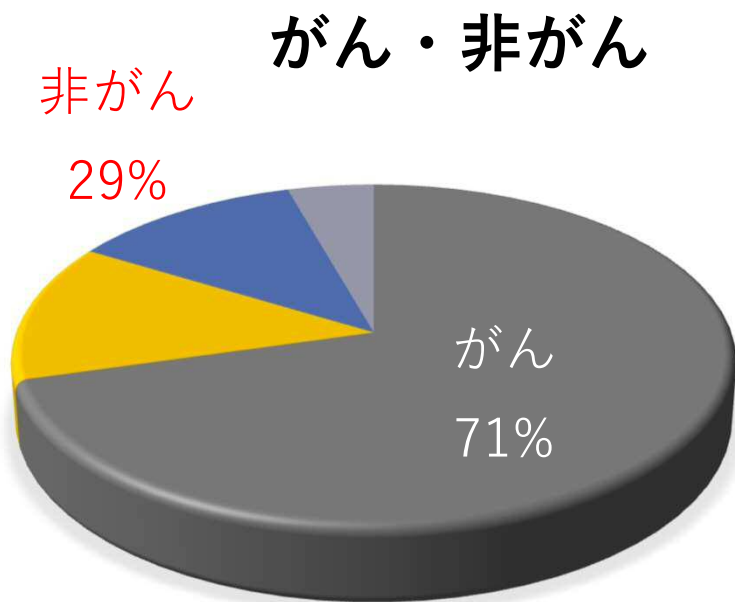
入居者情報紹介元 2017年1月～2018年12月

ファミリー・ホスピス関東 6 棟の集計データ 入居者総数：429名

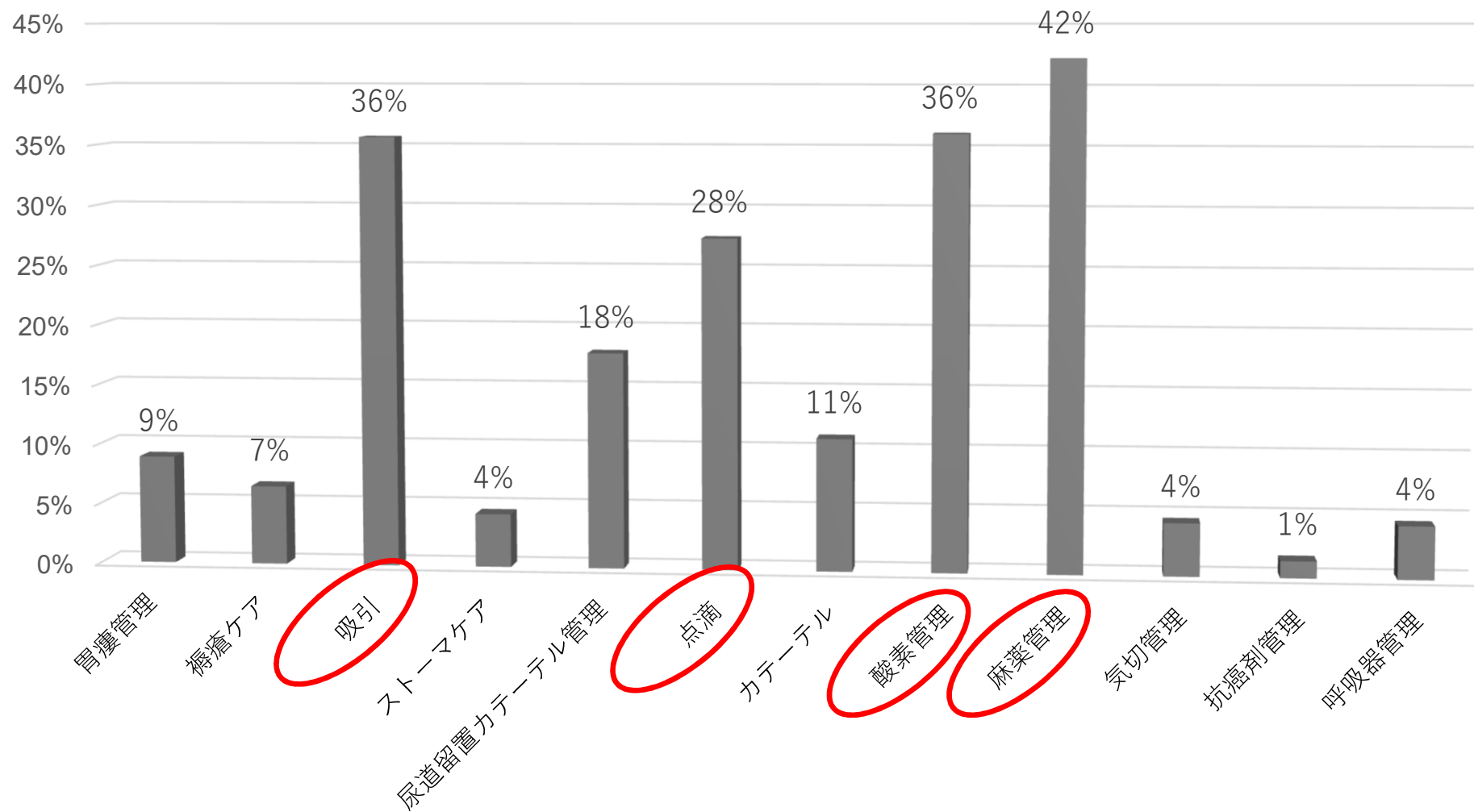
その他：行政、知人、ホームページなど



がん・非がん比率、要介護度 2017年1月～2018年12月

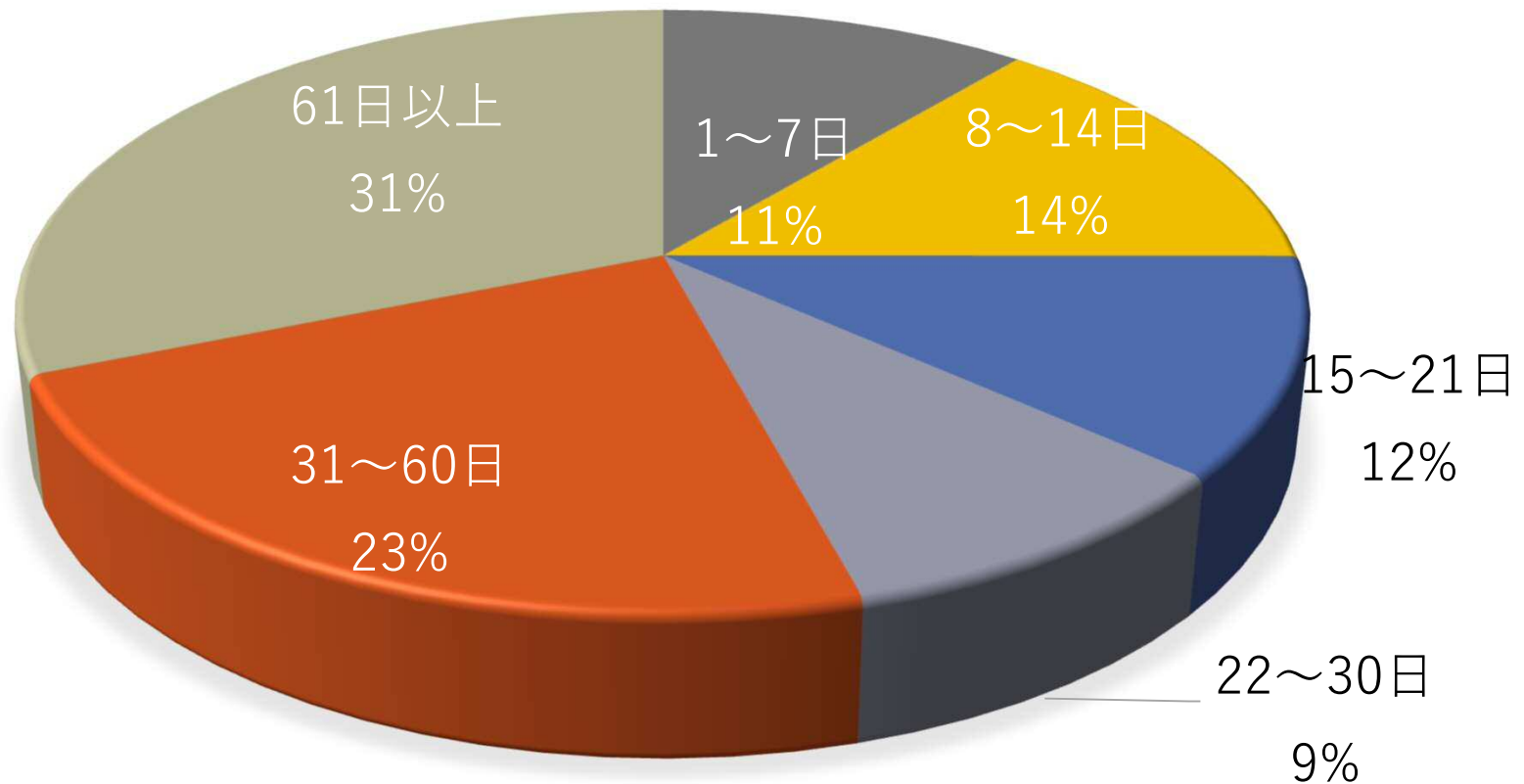


医療処置 2017年1月～2018年12月



入居期間 2017年1月～2018年12月

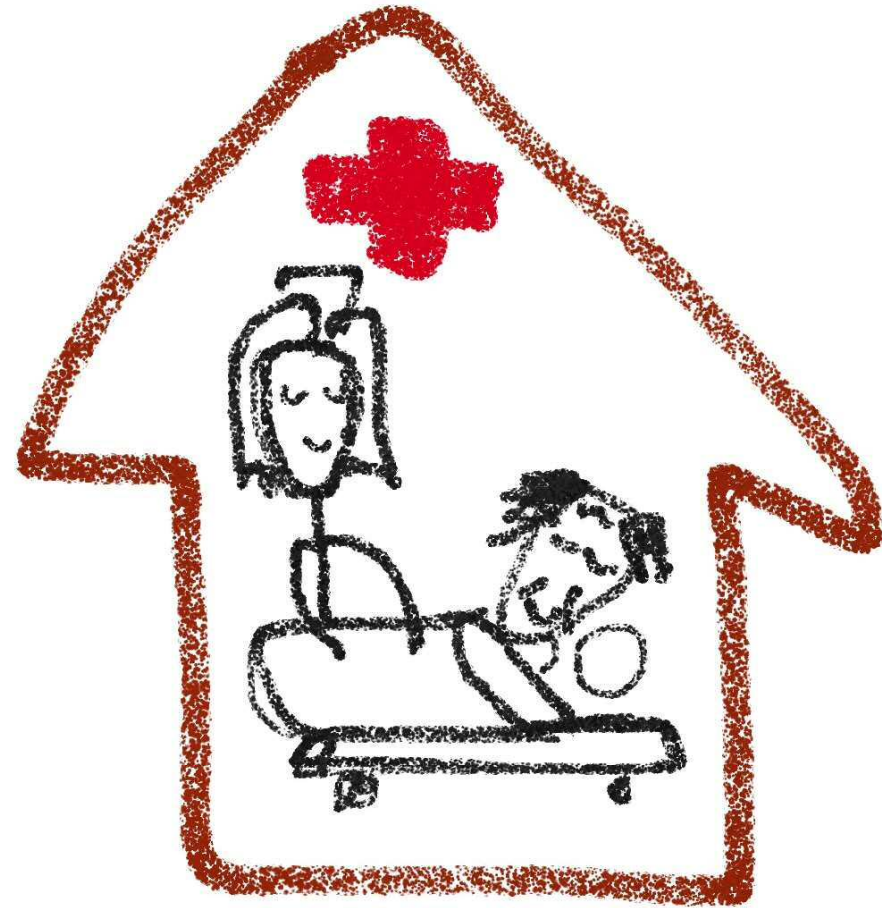
退去者総数：292名



介護負担と覚悟のシェアリング



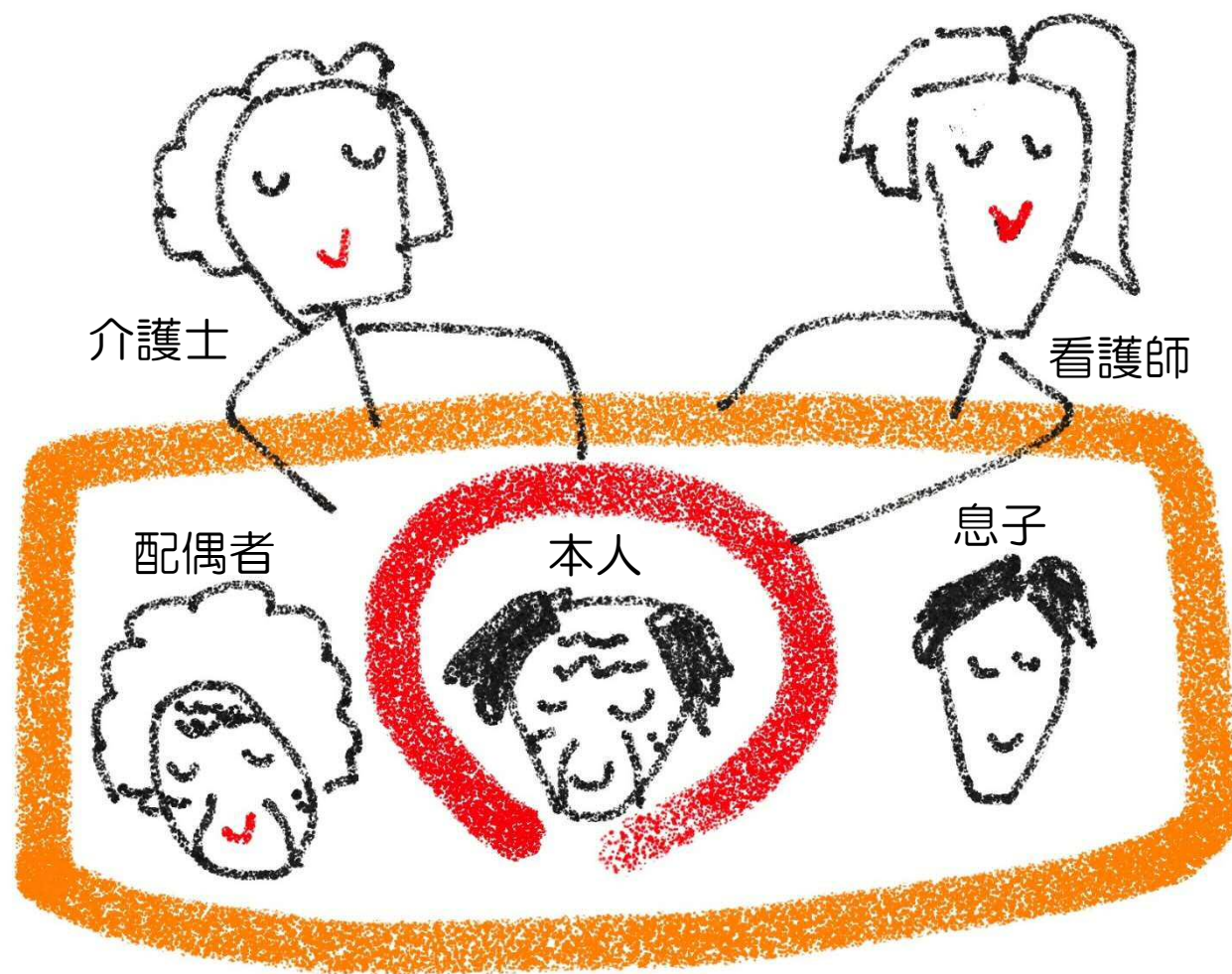
背負わない安心感
優しさの回復



点の関わりを線につなぐ約束

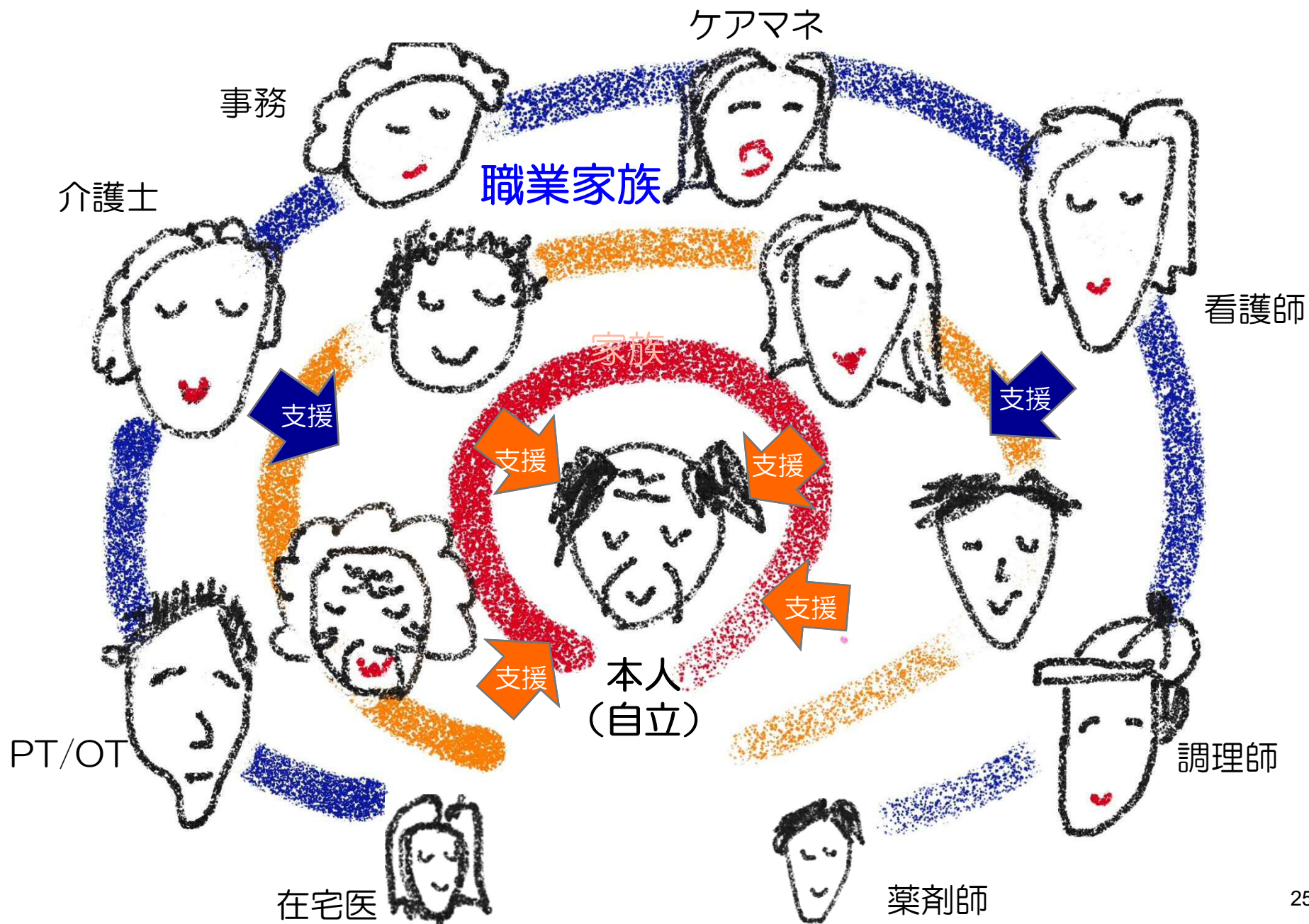
自己決定と自己責任

自己責任（覚悟）→踏み込んだケア→自己実現

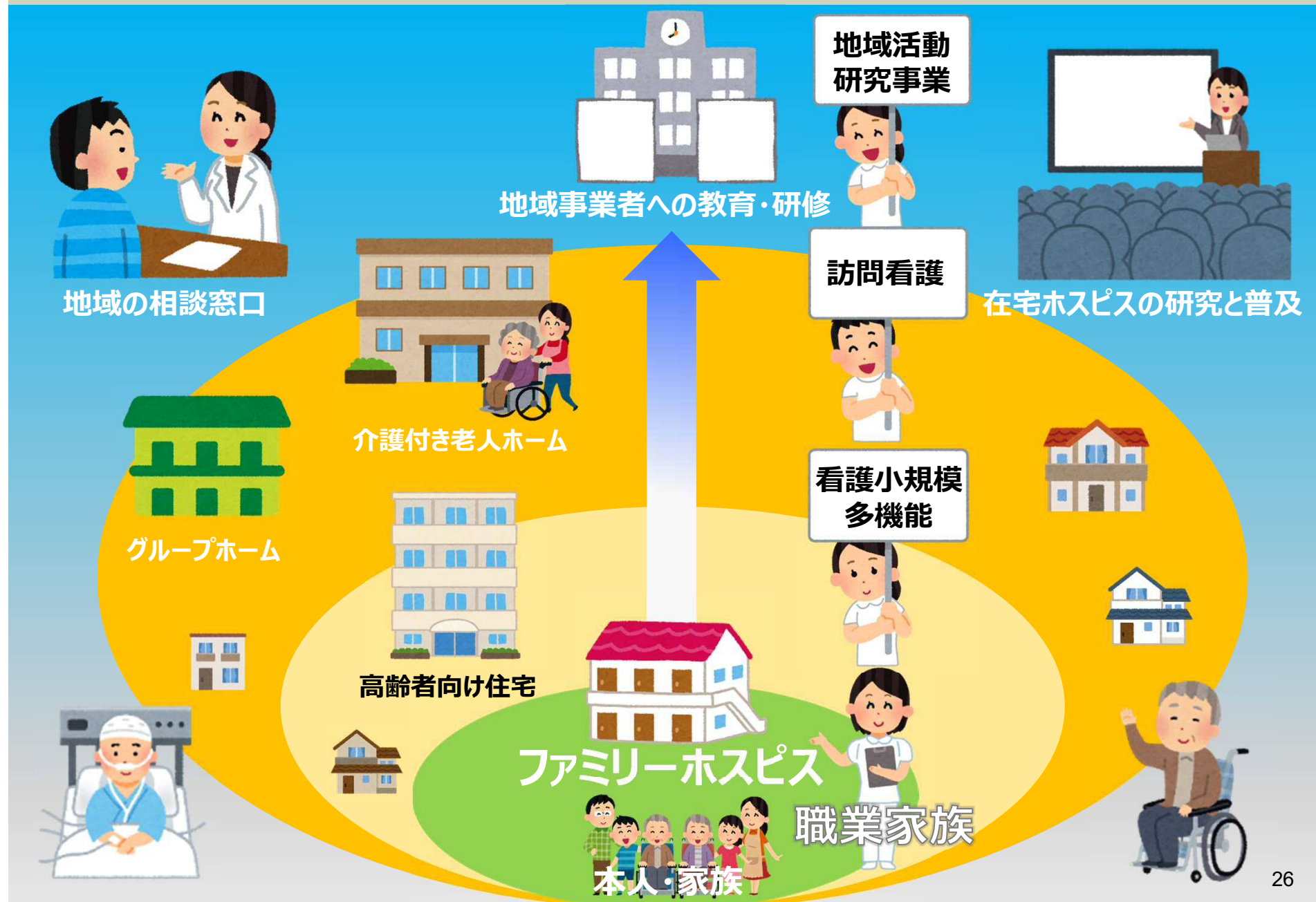


自己決定（自由）← 表裏 → 自己責任（覚悟）

職業家族は、もれなく・ダブリなくの支援



地域に広がるファミリー・ホス피스®



An illustration of a diverse group of eight people of various ages and ethnicities holding hands in a circle. At the top is an elderly man with grey hair and a striped headband. To his left is a young girl with brown hair in a red dress. To his right is a woman with dark hair in a pink top. Below them are a man with glasses in a blue suit, a woman in a purple dress, a young boy in a blue shirt, and an elderly woman with a striped headband. The group is arranged in a circle, holding hands, with a semi-transparent brown banner across the middle containing the text.

FOR THE SMILE

すべては笑顔のために